

施策評価シート(平成30年度)

(基本施策の大綱) 1. 快適さを支える生活基盤の向上

(基本施策) (1) 都市づくりの推進

(評価担当者)

産業建設部長

大澤 哲也

■ 基本施策が目指す姿

市民が、魅力的な都市空間のもと、都市機能を効率的・効果的に利活用し、安全で快適に暮らしています。

■ 関連する分野別計画

亀山市都市マスタープラン、亀山市景観計画

■ 成果指標

		単位	現状値		実績値					目標値
					H29	H30	R1	R2	R3	
1	用途指定地域内の宅地面積	ha	674.9	H27	677.2	677.6				682.0
2	市街地再開発事業等が行われた件数	件	-	H28	0	0				2
3	公園等環境美化ボランティア活動団体数	団体	19	H28	19	19				24
4										
5										

■ 市民アンケート調査

項目			現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [R2]	市民アンケートの考察
1	亀山駅とその周辺が整備されている	重要度	1.08	0.95		
		満足度	▲ 0.87	▲ 1.12		
2	魅力的な市街地が形成されている	重要度	1.07	0.98		
		満足度	▲ 1.01	▲ 1.06		
3	美しいまちなみや景観がつけられている	重要度	0.98	0.94		
		満足度	▲ 0.33	▲ 0.44		
4	公園・広場・緑地が充実している	重要度	1.04	0.99		亀山駅周辺の整備、魅力的な市街地形成、まちなみ景観形成、公園緑地等の充実の4項目のいずれも前回より重要度、満足度ともに下降している。 亀山駅周辺の整備、魅力的な市街地形成については、特に満足度の評価得点が低いことから、関連施策を一層推進し、満足度の向上に努める必要がある。
		満足度	0.11	0.04		
5		重要度				
		満足度				

■ 総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
B	亀山市都市マスタープランの改定や地籍の明確化など計画的な都市づくりの推進、公園施設長寿命化計画策定など公園・緑地の整備及び利活用は、順調に推進を図ることができており、個別判定をともにAとしている。活力ある市街地の形成においては、亀山駅周辺の再開発事業で少し遅れはあるものの、再開発組合の設立など、施策の推進は図られており、また、魅力的な都市の形成の創業等支援事業においても、計画値には至らなかったが、創業者の負担軽減などを図る取り組みができたことから、個別判定をBとしている。基本施策に設定した3指標のうち、1指標において実績値の向上がみられ、基本施策が目指す姿に向けて、各施策の推進により、ますます近づけることができていると考えられることから、総合判定をBとした。
まずまず進んでいる	
反省点・課題	
少し遅れがある亀山駅周辺の再開発事業を進めるため、再開発組合に対する支援の強化を図る必要がある。さらに、中心的都市拠点の求心力向上のため、新図書館や周辺地域とのつながりなどの整合も図る必要がある。 亀山市立地適正化計画により都市機能や居住の適切な誘導を行うとともに、道路や公共交通を活用したコンパクト＆ネットワークの都市づくりを進める必要がある。 さらに、都市づくりにおいては、リニア中央新幹線の駅位置や新庁舎の位置など、核となる機能を意識する必要がある。	

今後の展開方針

計画的に亀山駅周辺の再開発事業を進めるため、権利変換計画など再開発組合への支援を行うとともに、新図書館を中心とした公共的機能を再開発事業の実施設計に反映していく。

道路や交通ネットワークの強化を図るとともに、都市づくりの戦略方針に基づき計画的に進め、都市マスタープランを具現化していく。

引き続き、土地利用の促進や大規模災害に備えるため、計画的に地籍調査を進める。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向		計画的な都市づくりの推進				
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】		
A	活動	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】 亀山市都市マスタープランの改定に向け、市民アンケート、ワークショップ、市民協議会及び策定委員会等の意見を踏まえ、策定を行った。また、居住誘導区域への誘導施策として、居住誘導区域内への住宅取得に対する支援施策の検討を行った。さらに、地籍の明確化を図り、土地利用の促進や大規模災害に備えるため、計画的に地籍調査を行った。		【左記の活動により、施策は推進できているか】 今後10年間の亀山市都市マスタープランの策定により、都市づくりの方向性を示すことができた。また、地籍の明確化により、計画的な都市づくりの推進が図られている。住宅取得支援事業を、次年度の新規事業とした。		
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動 成果
	17001	都市マスタープラン策定事業		主	4,246 / 3,809	A A
の取組	17002	地籍調査事業		主	16,600 / 15,890	A A
		内容				活動 成果

施策の方向		活力ある市街地の形成				
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】		
B	活動	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】 亀山駅周辺のにぎわいや活性化を図るため、亀山駅周辺まちづくり協議会と連携し、亀山駅周辺地区2ブロック市街地再開発組合設立に向けての支援を行った。また、市道御幸8号線整備の推進や優良建築物等整備事業の支援を行った。		【左記の活動により、施策は推進できているか】 亀山駅周辺整備事業の予算執行は遅れたが、2ブロック市街地再開発組合が設立したことから、今後、建築物、市道駅前線、駅前広場の設計や権利変換に向けての各種調査が進められる。また、図書館整備基本計画と整合を図り、図書館サービス機能やゾーニングの考え方等を基本設計に反映し、亀山駅周辺の再開発に向け進めることができている。		
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動 成果
	17003	亀山駅周辺整備事業		主	174,035 / 173,272	B B
の取組	18005	都市開発資金貸付金事業		主	100,000 / 100,000	A A
		内容				活動 成果

施策の方向		魅力的な都市の形成				
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】		
B	活動	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】 歴史的まちなみ保存整備のための修理修景事業や景観計画区域を定めた適切な景観形成を継続して取り組めた。また、創業セミナーや空き店舗等を活用した補助制度を創設し、亀山商工会議所などと連携して、創業支援に係る情報発信を行った。		【左記の活動により、施策は推進できているか】 文化財としての価値を後世に伝えるべく、計画どおりのまちなみ修理修景事業を実施できた。また、市内での創業件数3件、創業資金利子補給制度5件、空き店舗等活用支援補助金を活用した創業3件があり、創業者の負担軽減が図られるとともに、魅力的な都市形成の推進が図られた。		
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動 成果
	17037	伝統的建造物群保存修理修景事業		主	29,080 / 27,902	A A
の取組	17062	創業等支援事業		主	4,184 / 3,913	A B
		内容				活動 成果

施策の方向		公園・緑地の整備及び利活用				
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】		
A	活動	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】 都市公園である亀山公園・西野公園・東野公園に配置されている運動施設を中心に、施設の安全性の確保、予防保全による施設修繕等の平準化を図ることを目的に、亀山市公園施設長寿命化計画策定に取り組んだ。また、指定管理者により公園の維持管理を行った。		【左記の活動により、施策は推進できているか】 公園の計画的な維持管理に向け、基盤を整えることができている。指定管理者により適正な維持管理を行っているが、花しょうぶの栽培技術を継承していく必要がある。 環境美化ボランティアは、活動団体の増加には至らなかった。		
関連事業	番号	事務事業の名称		区分	予算額/決算額 [千円]	活動 成果
	17004	公園施設長寿命化計画策定事業		主	11,068 / 6,690	A A
の取組	17005	西野公園改修事業(公園施設)		主	3,600 / 3,510	A A
		内容				活動 成果
		亀山市公園等環境美化ボランティア推進				A A